

文部科学省後援
第62回 全国高等学校家庭科被服製作技術検定（令和7年度）
準1級（洋服）筆記問題

1. 編物（毛のジャージ）を伸ばしたときに、伸び率の一番大きいのはどの方向か。最も適するものをアからウまでのなかから一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

ア よこの方向 イ 斜めの方向 ウ たての方向

2. 次の形態安定性能の改善目的にあてはまる加工法をアからウまでのなかから一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

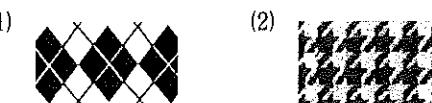
ア 防しわ加工 イ 抗菌防臭加工 ウ 透湿防水加工

3. 次の文の(1)から(3)に最も適するものを、アからオまでのなかからそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

右図のシャツカラーのシャツ・ブラウスは、基本的なデザインの一つで、（ 1 ）として通学・通勤用に、（ 2 ）を問わず着用できる。布地は薄手から中肉の綿織物であるブロード・（ 3 ）・綿サテンなどが適している。

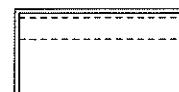
ア 年齢 イ 室内着 ウ 日常着 エ ギンガム オ フラノ

4. 下図の(1)・(2)は洋服の柄の種類を示したものである。それぞれの名称をアからエまでのなかからそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

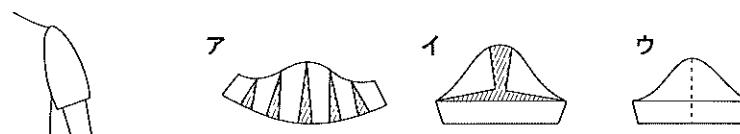


ア タータンチェック イ 千鳥格子
ウ ペーブリー エ アーガイル

5. 下図の縫いしろのしまつの名称を解答欄に記入しなさい。



6. 下図はそでの形を示したものである。そでの型紙として最も適するものを、アからウまでのなかから一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



7. 次の文の(1)・(2)に最も適するものを、アからオまでのなかからそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

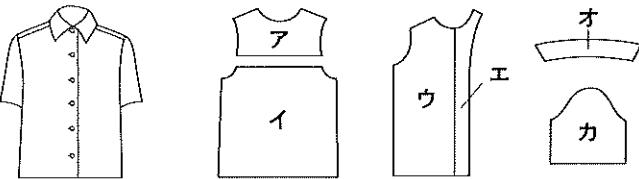
型紙の置き方は全部同じ方向に配置する方法と、布の使用量を少なくするために互い違いに入れこむ方法がある。柄が一方方向に向いているものや、（ 1 ）のあるものは、型紙は必ず（ 2 ）方向におく。

ア 毛並み イ たて ウ よこ エ 布目 オ 一方

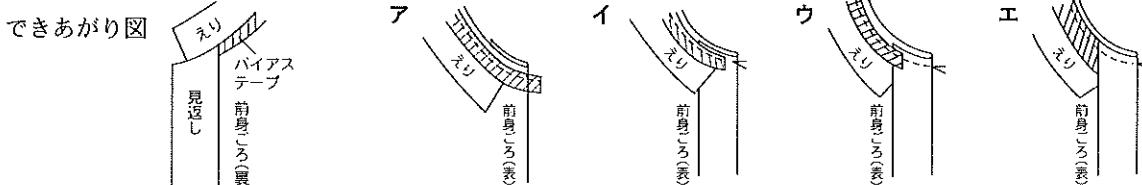
8. 下図のえりの名称を、解答欄に記入しなさい。



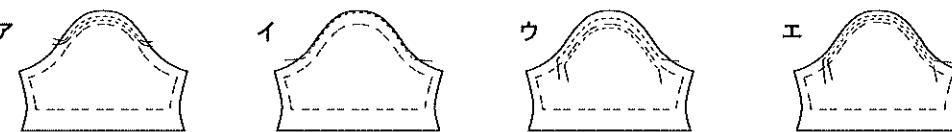
9. 右図のシャツ・ブラウスを製作する場合、しんを貼るのはどこか、アからカまでのなかから二つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



10. 下図はえりつけのできあがりを示したものである。バイアステープや見返しの置き方で最も適するものを、アからエまでのなかから一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



11. 下図は、そで山のぐし縫い位置を示したものである。最も適するものをアからエまでのなかから一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

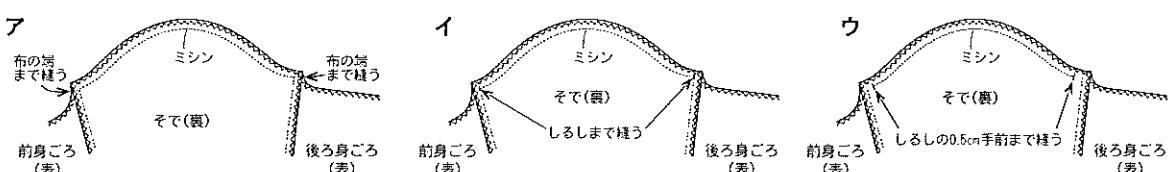


12. 右図のシャツカラーを作る場合、表えりと裏えりのつりあいについて最も適するものを、アからウまでのなかから一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

ア 表えりをゆるめる イ 表えりと裏えりをそろえる ウ 裏えりをゆるめる



13. シャツスリーブのそでつけをする場合、ミシンで縫う位置を正しく示している図はどれか。最も適するものをアからウの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



14. 次の文は配色について述べたものである。(1)・(2)に最も適する語句をアからエまでのなかからそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

色にはそれぞれ異なった性格や感情がある。一般に（ 1 ）色系の色は明るいので活動的な感じを、寒色系の色は（ 2 ）な感じをもつ。

ア 暖 イ 静か ウ 派手 エ 無彩

準	問題	1	2	3		4		5	6	7		8	9		10	11	12	13	14	
				(1)	(2)	(3)	(1)			(1)	(2)		(1)	(2)					(1)	(2)
1級洋服 (第62回)	解答																			
	得点																			
	学校名							学年		組		番号		名前					合計	

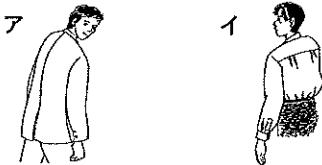
文部科学省後援
第58回 全国高等学校家庭科被服製作技術検定（令和5年度）
2級（洋服）筆記問題

1. 次の繊維について防しづけ性の高い順にならんでいるものをアからエまでのなかから一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

a ナイロン b 綿 c 絹
ア b c イ a b c ウ

2. 次の文は動きやすい衣服の工夫を説明したものである。説明にあてはまる技法の名称を解答欄に記入しなさい。また、該当する図をア・イの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ・布を人体にそわせるため、また装飾のために、布をつまんで縫ったひだのこと。



3. 右図は被服作図の記号である。その意味として最も適するものをアからウまでのなかから一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

ア バストポイント イ バイアスの布目 ウ わに裁



4. 次の文は接着しんの使い方のポイントを説明したものである。(1)から(3)に最も適するものをアからカまでの
中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

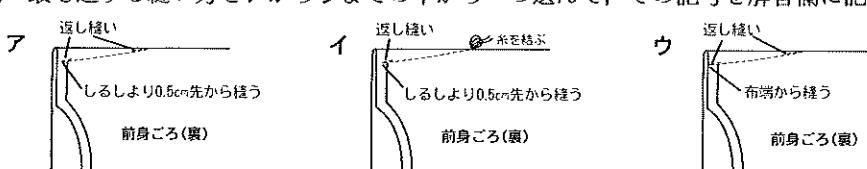
- 接着前の（1）と、接着後の（1）は一致しないため、必ずテストをしてから使う。
- 接着樹脂は熱を加えると溶け、熱が下がると（2）なる。
- ステッチで押さえない場合は、0.5cmぐらいの（3）をつけて裁断する。

バイアステープを正バイアスで作るとき、布の裁ち方で最も適切なものをアからウまでのなかから一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



6. シャツ・ブラウスのダーツの縫い方について、次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

- (1) 最も適する縫い方をアからウまでのAから一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



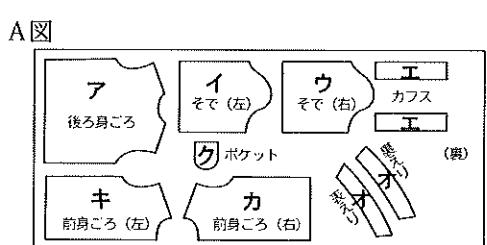
- (2) ダーツの倒し方について文中の（ ）に最も適する語句を解答欄に記入しなさい。



7. 右図のシャツ・ブラウスについて、(1)・(2)の問い合わせに答えなさい。

- (1) 片面の用布の裏に、A図のように型紙を置いた。置き方が間違っているものをアからクまでのなかから二つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (2) A図の中で不足している型紙の名称を解答欄に記入しなさい。

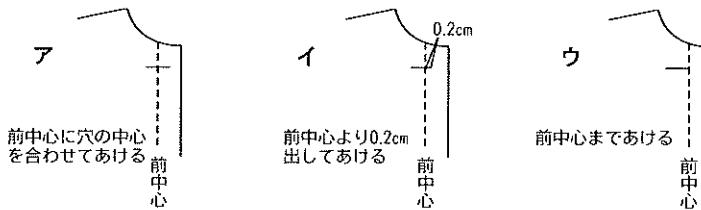


3. シャツ・ブラウスのボタンホールについて(1)・(2)の問い合わせに答えなさい。

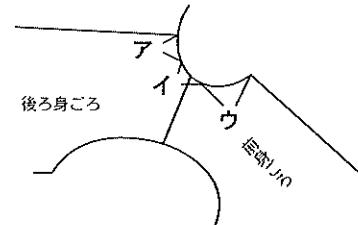
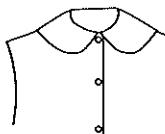
(1) ボタンホールの大きさで最も適するものをアからエまでのなかから一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

ア ボタンの直径+0.5cm イ ボタンの直径 ウ ボタンの円周 エ ボタンの直径+ボタンの厚み分

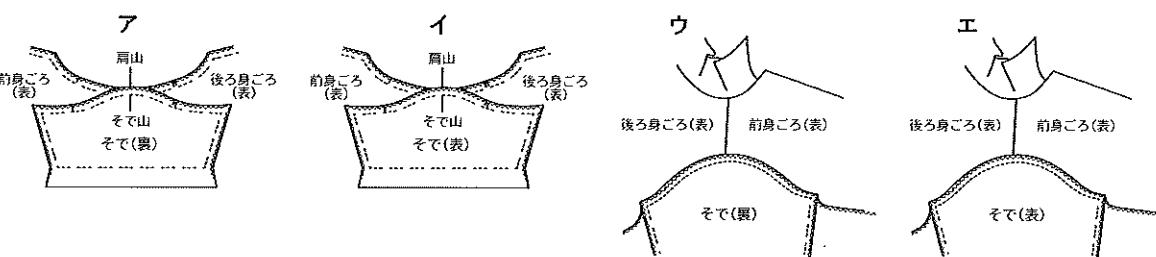
(2) ボタンホールの位置について最も適切なものをアからウまでのなかから一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



3. 下図のようなフラットカラーのえりつけをする場合、えりをつらせ
かげんにする部分を図中のアからウまでの中から一つ選んで、その記
号を解答欄に記入しなさい。



0. シャツ・ブラウスのそでつけをする場合、そでと身ごろの合わせ方で最も適切なものをアからエまでのなか
から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



1. 次の文は流行について述べたものである。(1)から(3)に最も適する語句をアからエまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

流行の影響として特に注意すべきことは、近代の大量生産方式による企業体系から促される（1）流行である。服飾の選択態度に関して（2）による流行服の採用ほど、（3）のないものはない。

ア 主体性 イ 画一性 ウ 人為的 エ 模倣心理

問 題 2 級 洋 服 (第 58 回)	1	2		3	4			5	6		7		8		9	10	11		
		名称	記号		(1)	(2)	(3)		(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)			(1)	(2)	(3)
	解 答																		
得 点																			
学校名				高校	学年			組		番号		名前				合計			

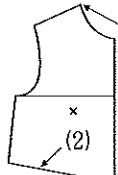
文部科学省後援
第57回 全国高等学校家庭科被服製作技術検定（令和5年度）
2級（洋服）筆記問題

1. 次の文の(1)・(2)に最も適する語句をアからエまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

シャツは性別や季節を問わず、日常着や通学着として着用されている。夏物の素材としては、(1)性がよく、洗濯に耐え、裁断・縫製がしやすい綿ブロード・(2)がよい。

ア 伸縮 イ 吸湿 ウ ツイード エ ポプリン

2. 下図の(1)・(2)の名称をアからオまでの中からそれぞれ一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



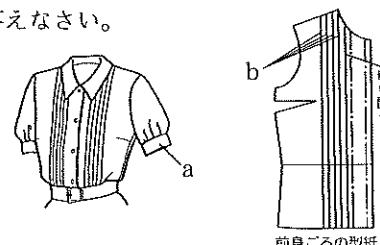
- ア アームホール イ ウエストライン
ウ パストライン エ パストポイント
オ サイドネックポイント

3. 綿ブロードのシャツを製作する場合、ミシン針・ミシン糸・ボタンつけ糸の組み合わせで最も適するものをアからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

	ア	イ	ウ
ミシン針	14番	11番 ニット用	11番
ミシン糸	絹ミシン糸 50番	ナイロン糸 50番	ポリエステル糸 60番
ボタンつけ糸	絹の穴糸 50番	ナイロン糸 50番	ポリエステル糸 60番

4. 右図のブラウスとその型紙の一部について、(1)から(3)の問い合わせに答えなさい。

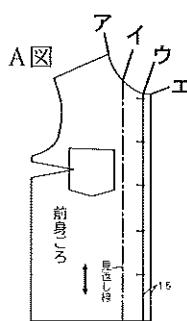
- (1) a の名称を解答欄に記入しなさい。
(2) b について、タック幅が0.2cm程度のごく細いものを何というか。解答欄に記入しなさい。
(3) このブラウスの着用のしかたとして最も適切なものをア・イの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。
ア タックインブラウス イ オーバーブラウス



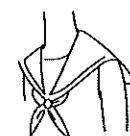
5. 下図はシャツ・ブラウスの仮縫いをして試着したときに出たしわの状態である。補正として最も適するものをアからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



6. 下図のデザインのシャツ・ブラウスを製作する場合、えりつけどまりはどこになるか。A図の型紙のアからエまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

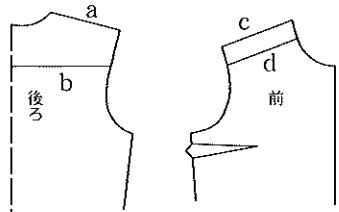


7. 右図のえりの名称を解答欄に記入しなさい。

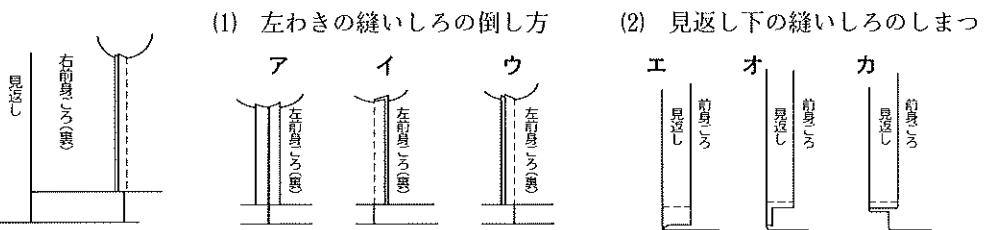


8. 右図のシャツ・ブラウスの型紙で、ヨークの型紙を続け裁ちで作る場合、突き合わせる部分は以下の組み合わせのどれか。最も適する組み合わせをアからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

ア aとd イ aとc ウ bとc



9. 下図はブラウスの右身ごろ側の縫い方を示したものである。(1)はアからウの中から、(2)はエからカの中から、最も適するものをそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

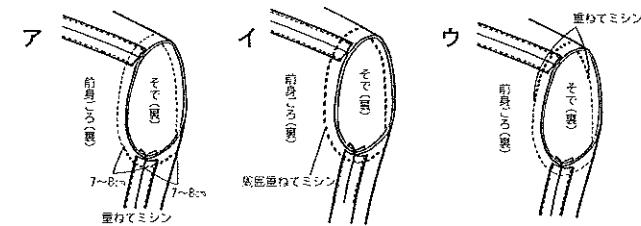


10. シャツ・ブラウスのそでつけについて、(1)・(2)の問い合わせに答えなさい。

(1) 次の文の①・②に最も適する語句をアからエまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

・そで山にしつけ糸(①)本どりで(②)をする。
ア ぐし縫い イ 1 ウ 2 エ まつり縫い

(2) そでつけで最も適するものを右図のアからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



11. 次の文は被服材料の材質感について述べたものである。(1)から(3)に最も適する語句をアからエまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

被服において材質感の影響は大きく、同じ色であっても組織が異なると違った色に見える。光沢がある場合は(1)に、光沢のない場合は(2)な感じに見える。また同じデザインでも張りのあるかたい布地で作ると(3)な感じになる。

ア 派手 イ 曲線的 ウ 直線的 エ 地味

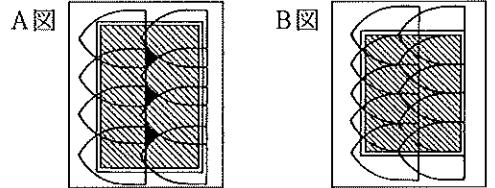
問題 2級洋服 (第57回)	1		2		3	4			5	6	7	8	9		10			11		
	(1)	(2)	(1)	(2)		(1)	(2)	(3)					(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)
解 答																				
得 点																				
学校名	高校		学年				組		番号		名前						合計			

文部科学省後援
第56回 全国高等学校家庭科被服製作技術検定（令和4年度）
2級（洋服）筆記問題

1. 次の(1)・(2)は、布地の表裏の見わけ方について述べたものである。正しいものに○、誤っているものに×を解答欄に記入しなさい。

- (1) 織り端や耳に文字が入っている場合、はっきり読める方が表である
(2) 表面の紋様、染色のはっきりしている方が表である

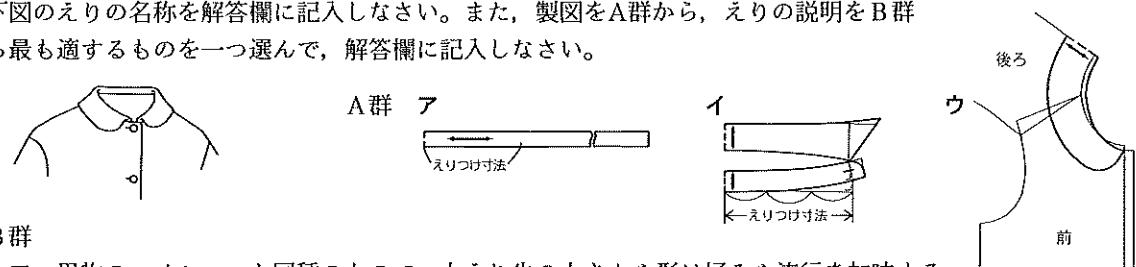
2. 接着しんを貼る際、アイロンの押さえ方がよいものをA図・B図から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



3. 秋冬の日常着としてシャツ・ブラウスを製作する場合、最も適する布地をアからオまでの中から二つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ア サテン（ナイロン100%） イ カシミヤ（毛100%） ウ コーデュロイ（綿100%）
エ ソフトデニム（綿90% ポリエステル10%） オ サッカ（綿65% ポリエステル35%）

4. 下図のえりの名称を解答欄に記入しなさい。また、製図をA群から、えりの説明をB群から最も適するものを一つ選んで、解答欄に記入しなさい。



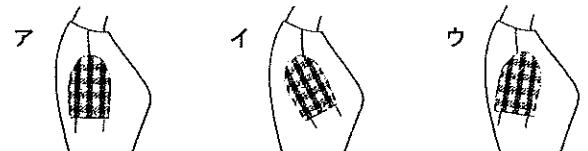
- ア 男物のワイシャツと同種のもので、上えり先の大きさや形は好みや流行を加味する。
イ 前えりぐりのくり方やえりの幅・長さなどを好みによって加減する。
ウ えりこしが低くえりぐりにそって平らにまたは1~1.2cmぐらい折りかえっている。

5. 既製の型紙を自分の寸法に合わせる場合、下図の(1)・(2)の箇所の補正寸法として適切なものをアからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。（-----は補正線、ただし前後の補正寸法は同じとする）

寸法	胸 囲	背たけ
既製の型紙寸法	80cm	36cm
自 分 の 寸 法	82cm	37cm

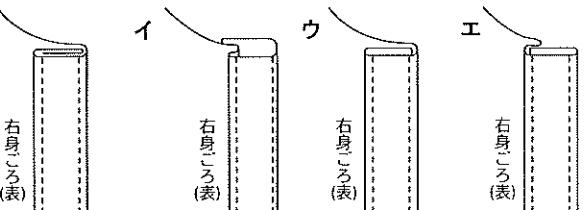
- ア 0.5cm イ 1cm ウ 1.5cm

6. 右図はそでつけを示したものである。最も正しいものをアからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

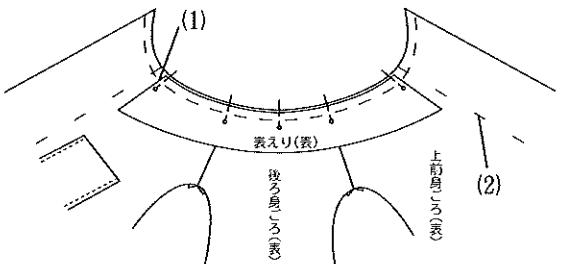


7. 肩線の縫い方について、(1)・(2)に適する語句をアからウまでの中から一つ選んで、解答欄に記入しなさい。
肩線を中表に合わせ、まち針を打つ。S N P側は（ 1 ）まで、肩先側は（ 2 ）までミシンをかける。
ア できあがり線 イ できあがりより0.5cm先 ウ 縫いしろの端

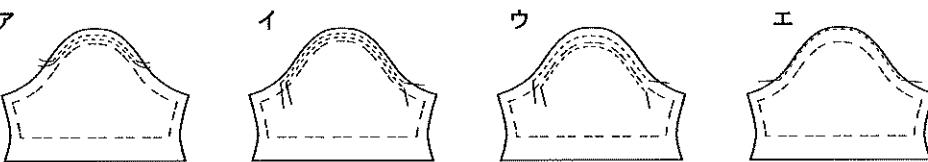
8. 右図はブラウスの見返し続ぎの前たての仕立て方を示したものである。適するものをアからエまでの中から二つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



9. 右図はシャツ・ブラウスのえりつけを示したものである。(1)・(2)の各部の名称を解答欄に記入しなさい。



10. 下図はそで山のいせ込み位置を示したものである。最も適するものをアからエまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



11. 被服の配色において、全体をまとめる(1)・(2)の方法は、具体的にどのようにするのか、アからエまでの中から最も適するものをそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) リピテイション (2) アクセント

- ア 部分的に変化を与え全体をまとめる方法
イ 色数を少なくし、用いられる色が効果的に生かされるように簡潔にまとめる
ウ 多色配色で段階的にしだいに色を変化させ調和と対比の中間的配色に導く方法
エ 繰り返しの方法で色を配置し、均一性の変化によるリズム感を生かす

問 題	1		2	3	4		5		6	7		8	9		10	11		
	(1)	(2)			名称	A群	B群	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)		
2級洋服 (第56回)																		
解 答																		
得 点																		
学校名			高校	学年						組			番号		名前		合計	

文部科学省後援
第55回 全国高等学校家庭科被服製作技術検定（令和4年度）
2級（洋服）筆記問題

1. 高齢になると脊柱のわん曲により、前すそがさがり、胸幅があまつてくる。このような服のゆがみの対策として最も適するものをアからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

ア 背幅を広げ、背たけを伸ばす
イ 前たけと胸幅をカットする
ウ 後ろえりぐりと後ろ肩線を上げ、前えりぐりをさげる

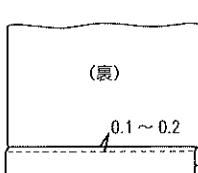


2. 次の(1)から(3)の布地の材質感にあてはまる布地名をアからキまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

(1) うね目のあるもの (2) 薄地で透けて見えるもの (3) 縮みのあるもの

ア ギャバジン	イ グログラン	ウ サッカー	エ デニム	オ ポイル
カ ベルベット	キ サテン			

3. 下図の折りしろしまつの名称を解答欄に記入しなさい。また、その用途について最も適するものをアからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



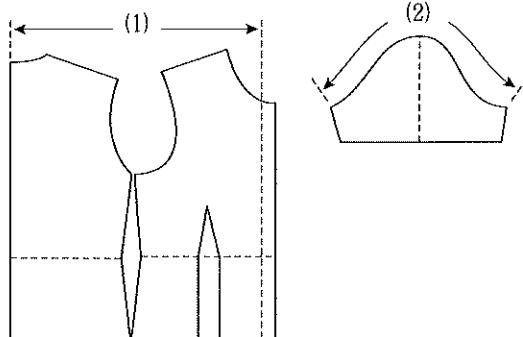
ア そで口・すそなどをじょうぶにするとき、表にミシン目が見えてもさしつかえないときに用いる
イ ほつれやすい毛織物や裏つきの表そで口、すそのしまつなどに用いる
ウ ワンピースのすそなどに用いる。表にひびきにくい

4. 次の文は、そで山の高さとそで幅の関係について述べたものである。(1)・(2)に最も適するものをアからエまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

そで山が低くなればなるほど、そで幅は（ 1 ）なり、腕まわりが（ 2 ）なるので、ゆったりとなる。腕の活動量が多くなるので、作業着に適する。

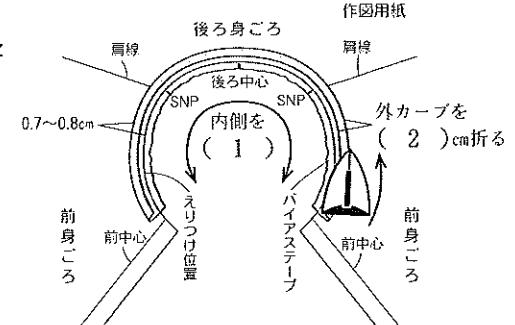
ア せまく イ 広く ウ 短く（細く） エ 長く（太く）

5. 下図は綿ブロードでブラウス（セットインスリーブ）をつくるときの身ごろとそでの型紙である。下記の寸法で計算した場合、図中の(1)・(2)の寸法で最も適切なものをアからオまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

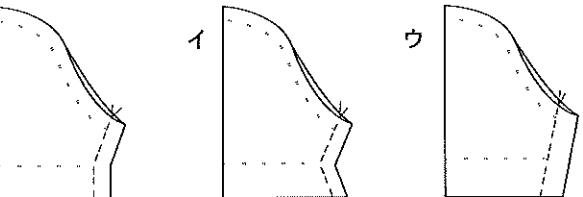


胸 囲 84cm
 そでぐり 44cm
胸囲
 $\frac{2}{2}$ のゆるみ 6 cm
 いせこみ寸法 1 cm

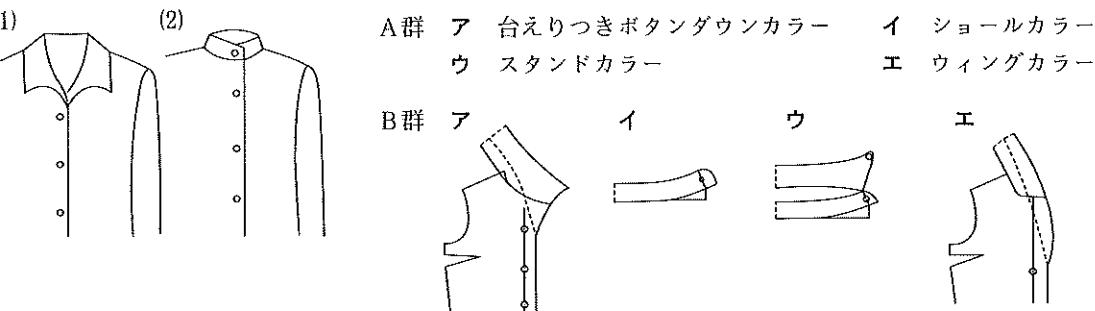
6. バイアステープを使ったえりつけをする際の準備について、
バイアステープのくせとりを示した右図の(1)・(2)に適する数字
又は語句を解答欄に記入しなさい。



7. 右図は半そでのそで下縫いしろと縫い方を示したものである。最も適するものをアからウまでのなかから一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



8. 次はシャツ・ブラウスに用いられるえりの形を示したものである。最も適する名称をA群、その作図をB群のそれぞれのアからエまでのなかから一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



9. 次の文は個性とデザインについて述べたものである。(1)から(3)に最も適する語句をアからオまでのなかからそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

被服製作にあたっては、まず、着る人の個性をじゅうぶん知る必要がある。それには（1）な個性としての身体的な特徴を、採寸や（2）の観察によって、正確に知っておくことはもちろんであるが、それらに、（3）な個性を加えて総合的にとらえておくことが重要である。

ア 内面的 イ 画一的 ウ 外面的 エ 素材 オ 体型

文部科学省後援
第54回 全国高等学校家庭科被服製作技術検定（令和3年度）
2級（洋服）筆記問題

1. 次の文の(1)から(3)に最も適する語句をアからオまでのなかからそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

被服材料の保温性は（ 1 ）の熱伝導率と（ 2 ）がどれ位含まれているかという（ 3 ）によって決まる。

ア 水分 イ 空気 ウ 含氣率 エ 織り方 オ 繊維

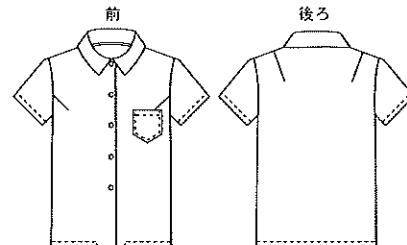
2. 織物しんの特徴として最も適するものをアからウまでのなかから一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

ア 表布と同じ布目にして使う
イ 適度に伸縮するので、ニット素材に適する
ウ 布目方向がないので経済的

3. 次の文の(1)から(3)に最も適するものを、アからオまでのなかからそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

右図の（ 1 ）のブラウスは、基本的なデザインの一つで、日常着として通学・通勤用に、（ 2 ）を問わず着用できる。布地は薄手から中肉の綿織物であるブロード・（ 3 ）・綿サテンなどが適している。

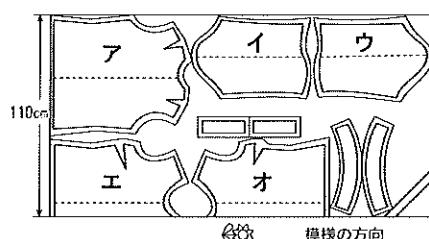
ア 台えりつきシャツカラー イ シャツカラー
ウ ギンガム エ フラノ オ 年齢



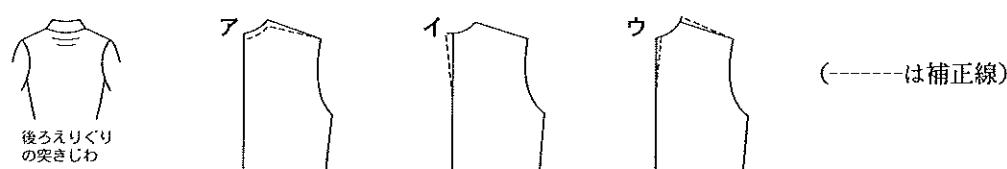
4. 下図のそでを作る場合、最も適するものを、アからウまでのなかから一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



5. 右図はシャツの裁ち方を示したものである。模様が同一方向に向かっている布の場合、置き換えなければならない型紙の記号を、アからオまでのなかから二つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



6. 下図は仮縫いをして試着したときに出たしわの状態を示したものである。その補正のしかたとして最も適するものを、アからウまでのなかから一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

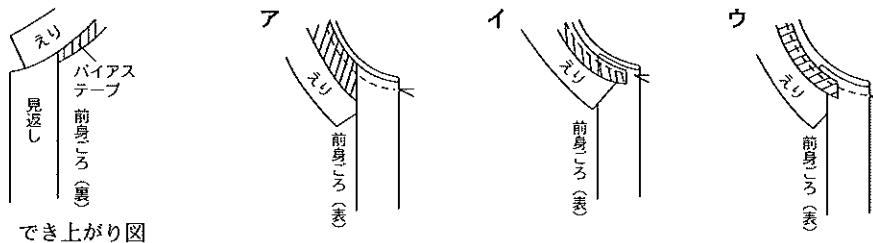


7. 下図のようなデザインのブラウスを縫う場合、どのような順序で縫えばよいか、(1)から(3)に適する語句を解答欄に記入しなさい。ただし、そでつけはセットインスリーブとする。

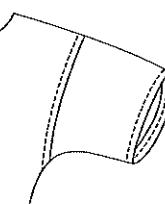


ダーツ縫い・前はしのしまつ → (1)縫い → えりつくり・えりつけ
→ (2)縫い → (3)つくり → そでつけ → すそしまつ
→ ボタン穴かがり・ボタンつけ

8. 下図はえりつけのでき上がりを示したものである。バイアステープや見返しの置き方で最も適するものを、アからウまでのなかから一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



9. 下図のようなシャツのそでつけをする場合、次の文の(1)から(3)に最も適するものをアからオまでのなかからそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



身ごろとそでを申表にあわせ、そで山と（ 1 ）をあわせる。（ 2 ）側よりそでつけのしるしからしるしまで縫う。縫いしろを（ 3 ）側に倒し、ステッチをかける。

ア 前 イ 後 ウ 肩山 エ そで オ 身ごろ

10. 同一色相の配色の例をA群のアからウまでのなかから、その配色の説明で最も適するものをB群のアからウまでのなかから、それぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

A群 ア 赤とだいだい色 イ 濃い赤とピンク ウ 赤と黄

B群 ア 冷たく落ちついた感じ

イ 無難な配色であるが明度と彩度で変化をつけるとよい

ウ わざかに色相が違うので調和しやすい

問題 2級 洋服 (第54回) 解 答	1			2	3			4	5	6	7			8	9			10	
	(1)	(2)	(3)		(1)	(2)	(3)				(1)	(2)	(3)		(1)	(2)	(3)	A群	B群
得点																			
学校名				高校	学年			組			番号			名前				合計	

文部科学省後援
第53回 全国高等学校家庭科被服製作技術検定（令和3年度）
2級（洋服）筆記問題

1. 立体構成に関するものを、アからカまでの中から三つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

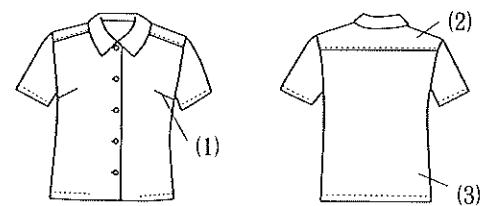
- ア ダーツ、ギャザー、タックなどがある
- イ 直線裁ち、直線縫いが多い
- ウ 布をいせる、のばすなど、くせとりをする
- エ 縫いしろは、裁ち切らないで、折り込んで落ちつかせる
- オ 曲線裁ち、曲線縫いが多い
- カ 手縫いを主とし、縫いしろにきせをかける

2. 保温性に関する加工法を、アからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

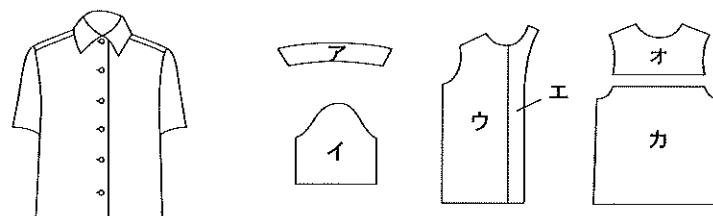
- ア シルケット加工
- イ カサ高加工
- ウ ウォッシュ・アンド・ウェア加工

3. 右図はブラウスのできあがり図である。

- (1)から(3)のそれぞれの名称を解答欄に記入しなさい。



4. 下図のシャツを製作する場合、しんをはるのはどこか、アからカまでの中から二つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

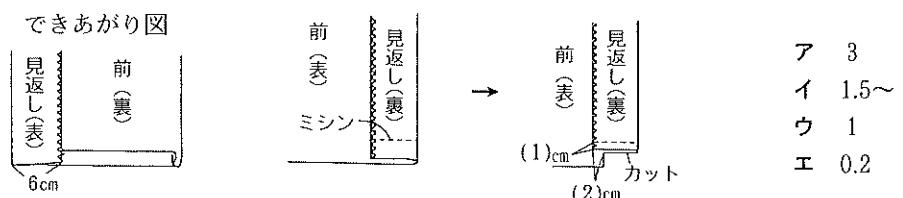


5. 次の文の(1)から(3)に最も適するものを、アからオまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

体型は人それぞれ違うので、裁断したブラウスを仮に縫い合わせてできあがりの形に組み立て、これを着てみて思わしくないところがあればそれを（1）し、着る人の（2）に合うようにするのが（3）である。

- ア 体型
- イ 仮縫い
- ウ そで幅
- エ 補正
- オ 見かけ

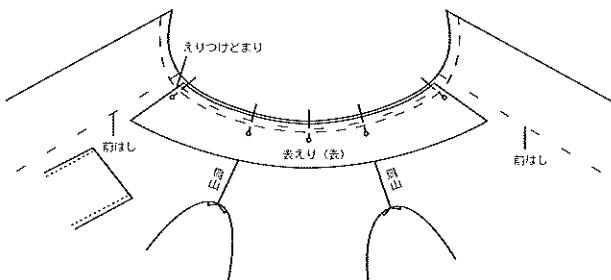
6. 下図はブラウスの見返しすそのできあがりと、その縫い方を示したものである。(1)・(2)に最も適する数字をアからエまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



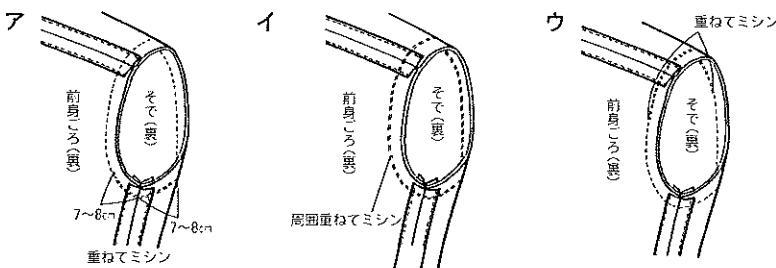
7. 次の文はシャツカラーのえりつけについて述べたものである。(1)から(3)に最も適する語句を、アからオまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

えりを身ごろの（1）側にのせ、身ごろの（2）中心とえり中心をあわせてまち針をうち、しつけをかける。前はしで見返しを折り、縫いしろの上にバイアステープをおき、ミシンをかける。縫いしろを整えバイアステープでくるんでミシンで押さえるか（3）をする。

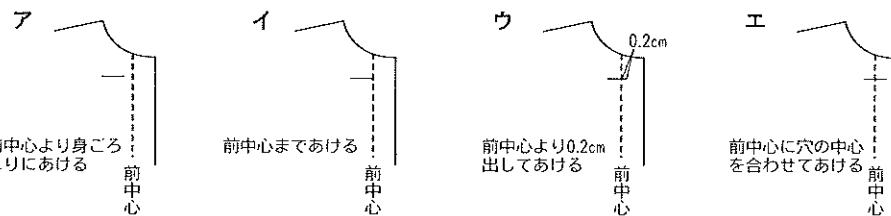
- ア 表
- イ 裏
- ウ 前
- エ 後ろ
- オ まつり縫い



8. 下図はそでのつけ方について示したものである。最も適するものをアからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



9. 下図はブラウスのボタンホールの位置について示したものである。最も適するものをアからエまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



10. マニッシュのファッションイメージについて、最も適する説明をアからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ア 気品があり、優しく穏やかで洗練されたイメージ
- イ 斩新で奇抜なイメージ
- ウ 格調があり、男性的な渋いイメージ

問題	1		2	3			4	5			6			7			8	9	10
	(1)	(2)		(1)	(2)	(3)		(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)			
2級洋服 (第53回) 解 答																			
得 点																			
学校名				高校	学年			組			番号		名前				合計		